

ミニセラ洗濯機用水栓 …… PY1735TV-13

取扱説明書

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

お客様へ

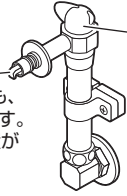
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書をお客様へお渡しください。

製品について 各部の名称

オートストッパー付ニップル：
使用中に給水ホースのジョイント部がはずれても、安全装置が働いて通水しない機構になっています。(ただし、給水ホース中の破損や漏水は安全装置が働きません。)



ハンドル：
吐水量の調節および止水ができます。

施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

- 警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ …… 「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
 - 🚫 …… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
 - 🔧 …… 「分解してはいけません!」
 - 👉 …… 「指示した場所に触れてはいけません!」
 - 🗣️ …… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 注意

- 🚫 修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や漏水の原因になります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- 🚫 給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。60℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や漏水の原因になります。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告

- 🚫 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをさせるおそれがあります。

⚠ 注意

- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えたり、物をかけたりしないでください。故障や漏水の原因になります。
- 🚫 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

窓を閉めるなど
- ❗ (給湯器の設定温度について) 給湯温度は最高60℃まででお使いください。60℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。
- ❗ 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

確認
- ❗ ハンドルは、ゆっくり回してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ゆっくりと
- 🚫 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

X
- ❗ 洗濯機などを使用しない時は、ハンドルを閉めてください。給水ホースがはずれて漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

止水
- ❗ ホース接手を本体のニップルに確実に差し込んでください。確実に差し込まないと水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ❗ 給水ホースをははずす際は、必ずハンドルを閉めてください。給水ホース内の水が出て、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。特に給水ホース内に圧力がかかっている場合は水が吹出すおそれがあります。洗濯機などに取付けている場合は、一旦、作動(給水スタート)して、給水ホース内の圧力を逃がしてから、給水ホースをははずしてください。

① ハンドルを閉める。 ② 作動(給水スタート)する。 ③ ホースをははずす。
- 🚫 ホースを接続するまでハンドルを開けないでください。本製品の自動ストップ機能は緊急用です。安全装置が動かなくなって給水ホースが取り付けることができなくなった場合は、次の手順で安全装置を復帰してください。

①元栓を締めてから水栓のハンドルを開けてください。
②タオルなどで手を保護して安全装置を押してください。
③水栓のハンドルを閉めてから元栓を開けてください。

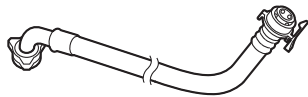
元栓 水道メーター
洗濯機用ニップル 安全装置
タオルなど
- ❗ ハンドルは定期的に動かしてください。その際必ず給水ホースを接続してください。ハンドルを長時間動かさずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると破損の原因になります。

ご使用について 洗濯機給水ホースの適合について

- ① 自動洗濯機でご使用の場合
日本電機工業規格 (JEM1206) に適合するホース接手をご使用ください。弊社製品では、下記の品番が該当します。

自動洗濯機給水ホース

- SAN-EI品番 : PT17-1-0.5(長さ0.5M)
PT17-1-1 (長さ1M)
PT17-1-1.5(長さ1.5M)
PT17-1-2 (長さ2M)
PT17-1-3 (長さ3M)
PT17-1-5 (長さ5M)



- ② 2槽式でホース接手のない場合
PT17-4Fをご使用ください。
ニップルに直接ホースを接続して使用しないでください。

注意

自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



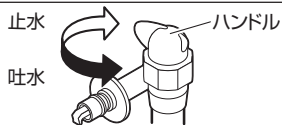
ホースナット付ジョイント
SAN-EI品番 : PT17-4F

適合ホース :
内径φ12~15mm
外径φ18~20mm

お使いの給水ホース

ご使用について 吐水・止水について

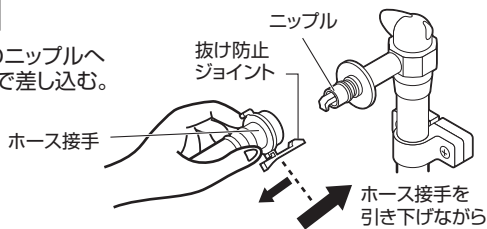
ハンドルをまわして、吐水、止水します。



ご使用について ホース着脱方法

ホースの接続

- ①ホース接手を本体のニップルへカチッと音がするまで差し込む。



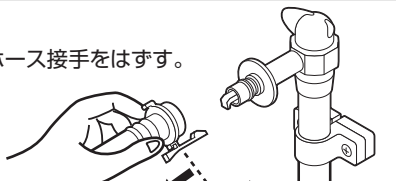
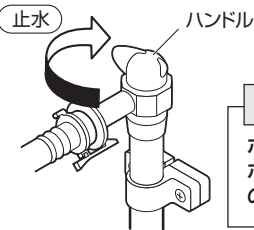
- ②接続後、ホースを引張って抜けない事を確認する。

ホース接手を
引き下げながら
差し込む。

ホースの離脱

- ①ハンドルを止水位置に合わせる。

- ②ホース接手をはすす。



注意

ホースをはすす際は、ホース内の水が出ますので、注意してください。

ホース接手を
引き下げながら
はすす。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど



定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

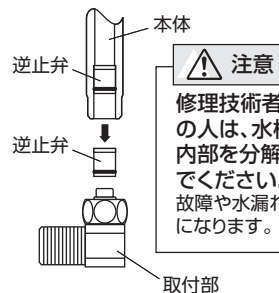


定期的な点検 逆止弁の点検・交換

安全・快適にお使いいただくために定期的な逆止弁の点検・交換をお願いします。

逆止弁V821F-1-13の交換方法

- ①元栓を開けて、水を止めてください。
- ②洗濯機給水ホースをはずしてください。
- ③袋ナットを緩めて、本体をサドルバンドから抜いてください。
- ④左図の方向にピンセット等で逆止弁をはずしてください。
- ⑤新しい逆止弁に交換してください。向きに注意してください。
- ⑥今までと逆の作業をおこない、元栓を開いた後水漏れがないか確認してください。



注意

修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。

こんなときは 故障? その前に

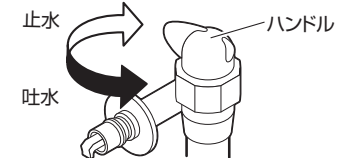
修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

	原因	処置
水が出ない	ハンドルが開栓していない。	A
水が止まらない	通水していない。	A
	ハンドルが開栓していない。	
流量が少ない	ハンドルが開栓していない。	A
ニップル部から水が漏れる	ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみ。	B
ホース接手がはまらない	通水状態や本体内部に圧力がかかっている。	C
	ホース接手が適合しない。 (SAN-EIの給水ホースを別途お求めください。)	

処置

A

ハンドルが開閉しているか確かめる。



B

ホース接手のパッキン部のゴミかみがあれば取除き、傷があれば部品を交換する。



C

安全装置を復帰させ、本体内部の圧力を逃がす。
表面 : 「ご使用に関する安全上のご注意」参照

漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を開めてください。

元栓の開め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。
※元栓を開める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

戸建て住宅などの元栓ボックス :

●キー式
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあつたりします。



マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス :

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

